

特



集

## ともにたらしき ともにくらす ダイバーシティを目指して

私たちのまちには、子ども、大人、高齢者、男性・女性、外国人、障がいのある人など、色々な人が暮らしています。この特集では、石岡市にある社会福祉法人の取り組みを通して、みんなが幸せに暮らすためにはどんなことが必要なのかを考えていきます。

### ダイバーシティって何？

ダイバーシティとは「多様性」のことです。性別や国籍、年齢などに関わりなく、多様な個性が力を発揮し、共存できる社会のことをダイバーシティ社会といいます。

### いばらきダイバーシティ宣言

県では、活力があり、持続可能な地域社会をつくるため、令和3年7月2日、関係団体などとともに「いばらきダイバーシティ宣言」を発表しました。趣旨に賛同し、宣言する企業・事業所・団体などを募集しています。

茨城県ダイバーシティ推進センター「ぽらりす」  
TEL 029-233-3982

詳しくは  
こちらから▶



### 「D&I 取り組み事例の紹介」

ダイバーシティ&インクルージョン（D&I）とは、多様性を受け入れ、その能力を発揮させる考え方を指します。ここでの多様性は、性別や年齢、国籍や障害の有無から働き方まで、幅広い意味を持っており、労働者不足や生産性向上の観点などから重要視されている考え方です。

県は、この考えに基づき、D&Iを推進している企業の取り組み事例を紹介しています。

※今回ご紹介する社会福祉法人 泰仁会は令和4年度に取り組み事例が紹介されました。取り組み事例は、こちらのホームページで紹介されています▶



## 社会福祉法人 泰仁会の取り組み

所在地：小倉 442-1 TEL 43-0811



高城さんは職員の自由な発言を認め、意見を尊重しています



施設長  
高城裕さん  
平成7年から泰仁会  
に勤務している

# 多様な働き方を認め合い、最大限の力を発揮する

**○なぜ外国籍人材の受け入れを始めたのですか？**

きっかけは介護業界の人材不足です。入居者の安定的な受け入れをするため、外国の方や多様な人材を積極的に受け入れる必要がありました。そこで泰仁会では2008年から、外国の方が日本で就労しながら介護福祉士資格取得を目指す制度であるEPAを活用して、受け入れを始めました。

**○シニア人材活用の取り組みについて教えてください。**

高齢者の方には、働く条件を変えて採用することを実施しています。他の職員と同じ業務を希望する人もいますが、介護助手としての採用や夜勤をしないなど、個人に合った働き方をしてもらっています。泰仁会では定年を65歳、第二定年を70歳としています。その後、パートタイマーとして働くことが可能です。また、現役時と同等の給与が保障されます。基本的に雇用に関して年齢の条件はなく、やる気や業務との相性などを重視しています。

**○外国籍人材・シニア人材の働き方について教えてください。**

基本的には一般の職員と同じです。勤務時間や業務内容についても違いはありません。外国籍の職員には日本語のサポートを行う、シニア人材にはICT研修を積極的に実施するなどの取り組みを行っています。

**○育児取得の実績について教えてください。**

令和4年度は男性職員4人・女性職員4人が育児休暇を取得し、取得率は100%でした。また、子育て支援休暇や育児短時間勤務制度、託児所の設置などを実施しており、職員が働き続けられる職場を目指しています。最近では若い男性職員が、自ら育児休業の取得を希望するようになりました。制度を策定しても活用できなければ意味がありません。そのため、制度を持続的に活用してもらえよう職場の風土づくりに力を入れています。

**○多様な働き方ができるよう大切にしていることはありますか。**

一人ひとりの違いに寄り添う職場を目指しています。職員の課題や悩みに対応できるように、各部署で面談を実施しています。同じ人間は一人も存在しません。それぞれの強みを活かして働くことができるように、今後も取り組みを進めていきたいと考えています。

7:00



始業・見回り



部屋を見回りし、入居者の体調などを確認します。出勤して最初の仕事です。

シージェイさんのこんな一面



ほっと一息♡  
毎日お弁当を持ってきます。

食事介助



入居者のニーズに応じて食事の介助を行います。入居者の体調にも配慮します。

16:00



勉強・入居者の記録作成



分からない日本語はすべて書き出し、調べます。仕事の中でも勉強できるように努めています。

入浴介助



浴室を清掃してから、入居者の入浴を介助します。安全に配慮しながら慎重に行います。

大変なこともあります。合って仕事ができます。今後は、国家試験合格に向けて頑張りたいと思います。

買物と一緒に連れて行ってくれるなど、日本での生活全般をサポートしてくれます。また、入居者の言葉が分からないとき、簡単な日本語に言い換えてくれることがとてもありがたいです。

○職場の人はどんなサポートをしてくれますか？

家族のために働きたいと考えていたところ、EPA介護福祉士候補者の制度を知りました。友だちからも「日本は働きやすいよ」と聞いていたことが後押しになりました。

○泰仁会で働き始めたきっかけは？

家族のために働きたいと考えていたところ、EPA介護福祉士候補者の制度を知りました。友だちからも「日本は働きやすいよ」と聞いていたことが後押しになりました。

○日本に来て何年になりますか？

フィリピンから2019年の6月に来ました。研修施設で6ヶ月の研修を受けたのち、泰仁会で働きはじめて3年になります。



ソリベクリスティンジョイエ ストレス (シージェイ) さん  
勤務年数：3年

## シニア介護職員・実川さんのお仕事に密着！

勤務場所：ケアハウスやさと

8:00



## 清掃



浴室は1人が入浴したら、その都度清掃します。ドアの手すりや電気のスイッチまで消毒します。

実川さんの  
こんな一面



## 入居者と畑仕事



入居者が出来る限り在宅に近い生活を送れるよう、敷地内の畑で野菜などを育てています。

通勤時間は往復2時間！  
移り変わる八郷の四季を  
楽しんでます。



16:00



## 入居者の記録作成



パソコンを使って記録作成を行います。ICT（情報通信技術）の研修などにも参加します。

## 買い物送迎



入居者の皆さんと一緒に、週に一度、買い物に出かけます。皆さん楽しみにしています。

○泰仁会で働き始めたきっかけは  
何ですか。

51歳のとき、都内で介護福祉士として働いていた娘から「第二の人生は福祉の仕事をするといいよ」と勧められたことがきっかけです。泰仁会で働き始めるまでに、ホームヘルパー2級、社会福祉士主事、危険物取扱者などの資格を取得しました。その後、75歳になる今日まで無事に仕事を続けられています。

○職場の人はどんなサポートをしてくれますか？

建築現場で働いていたこともあり、体力的に大きな問題はありませんが、ICTの研修などを受けられることが助かっています。

○実川さんの経験が活かしている場面はありますか？

施設内の簡単な修繕を行えるなど、前職の知識・技術が役に立っています。また、入所者の皆さんと比較的年齢が近く、生きてきた時代背景も共通する点が多いため、話しかけやすいと言われます。



じつかわつとむ  
実川力さん  
勤務年数：24年